



研究発表会」を東京都中央区のマツダホールで開催した。約130人が参加

した。工事現場や合材工場での創意工夫の水平展

開、技術者の育成を目的としたもので、全支店参加の全国大会を07年度に

創設。全国10支店で開催した発表会で報告された

86編の中から、えりすぐりの10編のほか、環境事

業やエネルギー事業など本社4部門から選定され

た4編をあわせた計14編の発表が行われた。

発表報文の内訳は、道路舗装4編、特殊舗装技

術4編、建築事業2編、産業廃棄物処理2編、合

材製造編、構造物1編の計14編。この中から、最優秀賞として、関東第二支店船橋出張所の清水憲氏による「越流堤舗装における品質確保への取り組み」を選定。そのほか、優秀論文賞、優秀プレゼンテーション賞も選んだ。

冒頭、水島和紀社長は「厳しい状況の中、品質

・技術・価格をキーワードに、会社をもう一段高める必要がある。発表会を良く聞いて学び、自分の参考になるものを選別して、あすからの業務に生かす努力をしてもらいたい」とあいさつ。発表

会が会社のレベルアップにつながるべく、期待を寄せた。写真。

全国10支店から えりすぐり14編

NIPPOが
事例研究発表会

NIPPOは22日、
第3回NIPPO事例

創意工夫を水平展開

事例発表・全国大会開く NIPPO

NIPPOは22日、第3回NIPPO事例研究発表会を東京・中央区のマツダホールで開催し、約130名が出席した。同社では、こうした発表会を、工事現場や合材工場の創意工夫を水平展開したり、技術者の育成を目的に20年ほど前から毎年支店ごとに開催してきた。これらに加え全国大会を一昨年度から創設



今回で3年目を迎えた。今回は、夏から秋にかけて全国の10支店で開催された発表会で報告された4編の計14編が発表された。開会に当たり、水島和紀社長は「われわれを取り巻く環境は、肌で感じるとおり日々大変厳しくなってきた。このような状況においては品質・技術・価格

をキーワードに、会社をもう一段高める必要がある。今日の発表会では、色々な現場でのこのキーワードに沿った創意工夫の発表がある。よく聴いて学び、自分の参考になるものを選別し、明日からの業務に生かす努力をしてもらいたい」と挨拶した。発表は、1人当たり15分間のプレゼンテーションに続き、5分間の質疑応答が行われ、活発な質疑応答や意見交換が行われた。

発表された報文は、道路舗装4編、特殊舗装技術4編、建築事業2編、産廃処理2編、合材製造、構造物各1編の計14編。報文の内容と同日のプレゼンテーションについて役員や本部長らが審査し、優秀な3編に対して最優秀賞、優秀論文賞および優秀プレゼンテーション賞を与え、表彰した。受賞論文は以下のとおり。

【最優秀賞】「越流堤舗装における品質確保への取り組み」(清水窓(関東第二支店船橋出張所))

【優秀論文賞】「首都高速道路における鋼床版SFRCS工事」(加藤義則(関東第一支店東京東出張所))

【優秀プレゼンテーション賞】「躯体工事の工程短縮と品質低下防止を目的とした改善事例」(西原正規(関西支店建築事業部))

建設産業新聞

平成22年1月26日掲載

創意工夫の発表 を業務に生かす

NIPPOが 事例研究発表会

NIPPOは22日、「第3回NIPPO事例研究発表会」を東京都中央区のマツタホールで開いた。全国の10支店で開いた発表会で報告された86編から選んだ10編と、本社の環境事業やエネルギー事業などの4部門から選んだ4編を発表した。最優秀賞には、関東第2支店船橋出張所の清水憲氏による「越流堤舗装における品質確保への取り組み」を選んだ。約130人が出席した。



開会に当たり、水島和紀社長は「品質・技術・価格をキーワードに、会社をも一段高める必要がある。いろいろな発表会では、いろいろな現場でのこのキーワードに沿った創意工夫の発表がある。よく聞いて学び、自分の参考になるものを選び、明日からの業務に生かす努力をしてもらいたい」とあいさつした。

道路舗装4編、特殊舗装技術4編、建築事業2編、産廃処理2編、合材製造、構造物各1編を発表した。役員や本社部長らが審査し、優秀な3編に対して最優秀賞、優秀論文賞、優秀プレゼンテーション賞を与え、表彰した。同社は、工事現場や合材工場などにおける創意工夫の水平展開や技術者の育成を目的に、20年ほど前から毎年支店ごとに発表会を開いてきた。これらに加えて、全国大会を2007年度に創設、今回で3回目を迎えた。

建設通信新聞

平成22年1月27日掲載